



サカタニ友の会ニュース

十二月八日は 大詔奉戴日

今やこの日をたいとうほうた

びと読みこの目を知っている人は少なくなっている。ページ左上に掲載した昭和天皇が登せられた詔書を恭しく戴いた日(昭16.12月8日)を指す。

既に、当時は支那事変(日中戦争)の最中、だが、膠着状態が続き、それを破るべく、日本・満洲国・中華民国を含み、東南アジアを資源の供給地域に、南太平洋を国防圏として位置付けているものと考えて、大東亜が日本の生存の「共栄圏」であると宣伝された。但し、大東亜の範囲、共栄の字義等は当初必ずしも明確にされていなかった。当時は多くが米英蘭等の植民地となっていたので、それを解放する戦い位置づけ「大東亜戦争」と名付けて、それらの支配国に宣戦を布告した。

私は当時、小学校の年生であったが、その日の事を今も鮮明に覚えている。(入学時の尋常小学校が、2年で国民学校になる。天気の良い日、朝のラジオニュース前に、勇ましい軍艦の音と高揚したアナウンスの声で日本が米英蘭等に対し宣戦布告をした。と報じた。祖父が「ヨシヤ、遂にやっとな」と大喜びをしていた。

その後、毎月八日は奉戴日集会で全校生徒が講堂に集まり、小学校先生が、詔書を読まれた後、東の方向を向いて「宮城遥拝」といふ最敬礼を丁寧な深いお辞儀の最敬礼をし、後授業があった。三年生の頃、そのお辞儀中に「き」と声を発したN君は、担任のM先生に類づけたを激しく叩かれた。十二月八日は、特別「大詔奉戴日」との名が付き、式の時間も長く、授業はなかった。

小五年生の時、馬町に爆弾が落とされ、学童疎開と五条通り御池通り堀川通等の住宅が「取壊し疎開」が一斉に始まった。現在の本町通も、東側は現在、正面上るにある公園(写真)の幅で強制疎開予定だったが、広島・長崎に原爆が投下され、その直後、大連参戦で日本は降伏、戦が終り、本町疎開は中止された。



貞教国民小学校の集団学童疎開は、北桑田郡平屋村(現美山町)に、だたが、虚弱児だった私は縁故を頼って宇治市炭山の親戚に預けられた。そは当時、電気が来ない村、夜はランプ、ラジオもなく、新聞も二日纏めて来る村だった。大阪等が空襲され、夜、空が赤く見えると、京都で無いかと心配した。祖父が病氣と知らされ八月十五日は、自宅に戻っていた。祖父が今日の正午に、重太ユースが有るので、「トラジ」で聞いて、内容を知らせと言われ

た。天皇のお声は雑音と難しい言葉で判らず近所の人に問い、日本の敗戦を知り祖父に伝えると、大声で陛下に申し訳ない」と泣き出した。その晩から、もう空襲が無く、町は明るくなった。祖父は九月二日に亡くなり、私は疎開地から十月に戻った。確か十日と思うが新聞に、共産党員の徳田球一、志賀義雄が、十八年振りに監獄から釈放された記事が出た。十二歳の私の生まれる前から閉じ込められていたと知り驚いた記憶が有る。12月(師走)になりました。

第3日曜日開催日11月15日(定例:朝9時~)

第130回 朝粥食へておシャベリ会 (報告者) 講演・(株)カスネット社長 植木力さん。中村アヤさん



今回の講師は、昨年12月に続き、約1年ぶりのご登壇となった、株式会社カスネット 代表取締役社長 植木力さん。大日本スクリーンに勤務されていた2009年に、退職型の社内ベンチャー制度に応募。株式会社カスネットを創業されました。当時は退職して起業する制度が少なく、戻れる場所もなく、退職金が割増されるわけでもなく、厳しい環境でのスタートだったそうです。1年目で300万円の赤字、2年目で800万円の赤字となる中、日本中から文房具を集めて、カンボジアに送られました。

現地の教育環境を何と環境を何とかしたいと発言したことが、学校を建てることと約束した事になった。そのお言葉が印象的でした。

その後、小さな社会貢献をしたという思いから、授産施設を優先的に取引したり、障害者スポーツ大会を応援するなど、広く社会に貢献する活動を、創業以来続けておられます。京都新聞の紙面に掲載されたスペースは、断トツでナンバーワンの企業なのだそうです。近年では、防災ソムリエとしても活躍されていて、防犯や目隠しに役立つ「災害マルチポンチョ」は、メディアでも多数紹介されています。

「社会貢献×事業」を実践する人が増えれば、もっと良い世の中になるはず。そのお言葉が印象的でした。

11月8日開催 第12回 賑伝ライブ

報告書



- ◎ 参加費: 三二六名様
- ◎ 参加費: 一五八千円
- ◎ 当日募金箱他: 二二万九千円
- ◎ 経費: 八万七千円
- ◎ 募金先: 東日本支援金
- ◇ ミニライブ: イ・バンドに

各10万円寄付・以上協力感謝申しあげます。実行委員会

※お問い合わせ: 12月号は、事務所移動と、仏事参加で作成とお届けが三日遅くなりました。お許し下さい。

どんつき

▽早やどんつき(12月) 2015年(平27)も、あと31日で正月が来る。

▽子供の頃は、もう幾つ寝るとお正月と楽しみにしていても中々来なかった正月がアツと言う間に来る。

▽もう暫くすると、やあ、今年もあつという間でしたなあ……」と言う言葉が巷を飛び交うのだらう。

▽時は金なり」という言葉が有る。時間はお金と同じように大切な価値がある。無駄にしてはいけないう事だらう。

▽但し、お金は置いておいても減りはないが、時間は、何もしなくても少しずつ無くなっていく。だから時は金ではない。

▽毎月この「とんからりん」を書いてるが、とんとんと早く出来上がる時と、中々出来ない月が有る。今月は後者。

▽追っかけている月は早く進むが、追いかける月だと、進むのに時間がかかる。仕事でもそうし、どんなことでも共通するようだ。

▽面白く楽しい時は、辛く嫌な時は同じ一時間でも、後者のほうが長く感じる。人間とは勝手な動物だ。出来るだけ楽しんで仕事をしたいものだ。

▽元来、私は臆も弱く怠け者で勉強も仕事も好きでなかった。大昔、和歌山水害救援の経験が、きっかけで、学友たちが驚く程コロッと人間が変わった。

▽ボランティアで救援作業をして、被害者の人に感謝された時だった。あの経験が無かつたら、私の人生は、全く違っただろう。と思ってる。

▽来年は多難の年になりそうだ

ヨシちゃん ひとりごと



もう歳っ

寝ると

私達の子供時代。お盆・正月・氏神様

のお祭りが

待ち遠しい日でした。その中でも「正月」が、もっとも楽しみにしたものでした。年末が近付くと「お正月」(東くめ作詞・滝廉太郎作曲)の歌が彼方此方で聞こえました。もう「歌詞をお忘れかも知れないので書き添えました。声を出して歌うと子供時代が蘇ると思います。

一・もついくつねるとお正月

お正月にはな(あげて

こまをまわしてあそびましょ

はやく(いいお正月

二・もついくつねるとお正月

お正月にはまりついで

追はねついであそびましょ

はやく(いいお正月

私の子供時代。年末には近所の三軒共同で「お餅つき」。大晦日は、店の掃除。元日は、5時30分に起これ枕元に置かれた、新しい下着を身に着け、仏間と神棚を拝み、家族と店の人達が集まり、新年の挨拶を交わし、お神酒を(子供の私も)戴きお雑煮とおせち料理を食べるのでした。日頃は番頭さん以外の丁稚さん達は別の場所(で食事)を(とっていました。戦後も3年程はその形が残っていました。古い風習の残る京都でも、丁稚番頭も消えた今はその風習は無くなっているでしょう。でも、やはり元旦は、年

が変わる特別の日で有り続けています。過ぎ去った日は、戻りませんが、元旦は年の始め、自分、日本、世界のこれからが始まる日です。そして、来年は敗戦後70年目の年。はて、敗戦の70年前1875年(明治8年)はど

調(と)2021年(明10)。西南戦争でまた西郷隆盛(下)が生きていたのです。その後、日本は、日清、日露戦争、日中、第二世界大戦と戦争の連続の歴史を歩みました。そして我が国は元より、世界中で、多大な犠牲者が出ました。その反省で戦争を放棄した平和憲法を持つたのです。70年もたてば忘れる人もあるが、忘れさせて戦争が出来る国にした人も増えて来たようす。が、世界中が日本と同じ憲法を持てば、戦争は無くなりそうです。そんな(三条が世界に拡がる初夢を見た)いものです。

我が断捨離
石動敬子



「断捨離」便という宅配便が妹からと

娘からまた届いた。3年前、この世を去った母の遺品の衣類だけでも大変で、バザーで引き受けてもらったりもした。たまに、会う人の着衣にそれを見たりすると懐かし、あんなに、会う人、恋しく思われる。最近のフリーマーケットの盛況は、使い捨ての昔とは違って、古着市場も結構賑わっているようだ。が、私の装い、俳句、生き方を次の世代に残せるか、はこころもとない。「何着て行く?」を考えるのが、何食べる、飲むより面白くなってきた昨今だ。チチハハに受けた「身体髪膚」に穴を開けるとは、と時の上司(学校長)に注意を受けたのは、およそ30年前になる。憧れのフランスに渡った友に

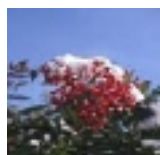
勧められ、アルプスの湖畔の宝石店で、ピアスというものに会った。私の耳に穴が開き、何かが変わった。やがて若者の鼻や、舌にまでピアスは流行した。が、わたしのは、ある意味、独立宣言だった。「旦那さんが何か言いませんか」とも残念そうに言われるのには驚いた。そろそろ、自分の「断捨離」も視野に入れんことには、と思うが、ピアスひとつが捨てがたい。高価なものは、残っておらず、おかたは失くしたもののなにかである。がらくたを仰山抱えているといつもいい。目をつぶって、放出してもいいと思うのは意外にも、書類、本などで、身につけるものにはまだ、執着しているのか。驚きた。草稿や、俳句の句帳をきちんと後の世に残されたのが師であり、その師匠であるが、私は目下、2冊の句集にまとめたこと、その周辺は整理されたと思っている。あとは、毎日が、消費

稲荷山 ぶらり散策記⑭ 越智重史

今回は稲荷山界わいの植物散策です。文字数の関係でわず

ですが紹介します。

十一月になると山道沿いに冬イチゴが熟します。バラ科の植物で、真っ赤な実が一月ごろまで楽しめます。しゃがんで目をこら眺めてみると小さな粒粒がキラキラ輝いています。ほかの木イチゴは夏に熟すが冬に熟すことが名前の由来のようす。地を這うように生えています。一の峰から末広滝に下るあたりに群生しています。多くの参拝者が行き交いますが誰も注目する人はいません。生で食べるとあ



残暑の(残る)山間の道を歩いていて、このシュウカイドウの柔らかなみのある姿と花の色を



目にすると、何かホッとしたのを感じます。中国原産の多年草で、江戸時代に渡来したようすです。名前の由来は、春

に咲くバラ科のカイドウ(ナカイドウ)に似て、秋に咲くところからと言われている。ナンテンを稲荷山界わいでは山裾や庭先にたくさん見かけます。特別に珍しいものではないですが、冬になつりあたりの草木が枯れ果てる中、真っ赤な実を付けて青空に映える姿は美しいものです。写真のように真っ白い雪をかぶったナンテンなども風情があります。またナンテンは、難を転ずるという語呂合わせから、災難や魔除け

火災除けとして手水鉢の傍らに植えられたり、祝いのお赤飯などの上に葉を添え、毒消しがわりの縁起木として昔から珍重されたようす。ヤブミョウガが稲荷山では多く自生しています。夏にかけてミョウガに似た長楕円形の葉を互生させ、葉の根元は茎を巻く葉鞘を形成します。ミョウガはシュウガ科であり、ヤブミョウガはツウサ科で、全く別物です。八月頃になると茎の先端から花序をまっすぐ上に伸ばし、白花を咲かせます。花が終わると初秋にかけて直径5ミリの程度の球状の実を付け、じきに葉を落として実が熟す。実は若い頃は緑色で、熟すと写真のように濃い青紫色になります。

京都&東山
ぶらりピカリ
65

七条通

高倉佛所



高倉通り角の民家の前に「高倉佛所跡」の木札がある。民家は立札と無関係で、その場所が「佛所」のあった地点だと言だけの事。

仏所とは「仏像制作工房」のこと。仏像は、釈尊の入滅後300年頃に、北西インドのガンダーラ、中インドのマトゥーラを起源とするといわれ、わが国には聖徳太子の時代に、渡来人によって初めて仏像が造られた。その後、遣唐使の往来によって仏像彫刻の新しい技法が次々に伝えられ、世界的に水準の高い仏像が生み出されてきた。

日本では、かつて仏像の造立のために官営の「仏所」が設けられた。そこでは仏師をはじめ戴金師、彩色師、木地師などの職人たちが技を磨き、弟子たちに技法を伝える形で、仏像彫刻は現代まで受け継がれてきた。現在も京都を中心に仏師は約100人を数える。

仏教は、もともと偶像崇拜の宗教ではないが、大乘仏教が興ったことで仏像が造られるようになったと言われている。今も京都の平安

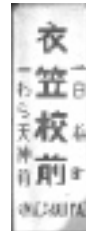
神宮近くに「平安佛所」が有る。日本では木製の仏像が大半を占め、中国や朝鮮半島には、廃仏や焼失によってほとんど古い仏像は残っていないが、日本は古来から外国からの文化を受け入れ、さらに独自に発展させていく面があり、仏像づくりにその一面が見られ、千年前と変わることのない技術と精神を、師弟関係を通して伝承されてきたということだろう。

後白河法皇が平清盛に命じて創建された蓮華王院(三十三間堂)の堂内には、3メートルもの大きな本尊、千手観音坐像(国宝)があり、その左右をそれぞれ30体ずつの千体千手観音像が並んでいる。(国宝の風神雷神も)本尊も合わせて1001体もの観音像が並ぶ仏像は、京都の「佛所」で作られたものだろう。

この文を書く中で、少年時代、三十三間堂西門内の狭い広場が、子供野球の場所だったことを思い出した。塀の敗れた場所がベンチ。打ったボールが、お堂に当たれば二塁打・東の池に落ちたら「ホームラン」。広場の脇には、「仏像修理所」が有り、常に数人の職人さんが作業をなさっていたが、何も仰らなかつた事を思い出した。戦争が終った直後その友の多くは遠くへ旅立った。そして私も81才。朝鮮戦争前、当時の平和を喜び「ゆつくり」と時が流れた時代が懐かしい。話が、脇に飛んだ文になった。お許しを。

市電が走った
京都を巡る
58

福田 静二



白梅町を出た西大路線の市電は、さらに北へ向かって走り始めます。車窓正面の左大文字山は、ますます大きくなって近づいてきます。西大路通には商店・ビルが混在するものの、昔からの邸宅も時おり見えて、一歩なかへ入ると閑静な住宅街が広がります。東へ行けば北野天満宮、西へ行けば、等持院などの古刹があり、進学校として有名な高校・中学もあつて、静かな文教地区へ入ってきた印象が強くなります。まもなく到着する停留場が「衣笠校前」です。

市立衣笠小学校があります。京都市電では、千本線の鞍馬校前とともに、二カ所だけの小学校名を冠した停留場です。学校は、明治六年に平野神社の南側に開校し、明治四十一年に現在地に移転、大正七年に京都市に編入されて衣笠校となりました。今年で創立百四十年以上となる小学校です。

停留場名は小学校ですが、利用するのは、もっぱら大学生です。立命館大学の衣笠キャンパスが、西へ約五百メートルにあるからです。市電が走っていた当時から市バスが直接太学止門前まで運転されていました。大学の東門からは、市電停留場までも近く、市バスより運賃が安く大量に乗れる市電が好まれたのでしよう。

衣笠キャンパス周辺には、幕末のころ、薩摩藩の藩兵訓練場、弾薬庫、陣屋、勤番屋敷などを置く広大な緑地が広がっていたそうです。昭和十四年、立命館は六万坪の土地を購入し、理工学部の前身となる高等工科学校を創設します。昭和二十年代にはプロ野球「松竹ロビンス」が本拠地としていた衣笠球場が、現在の中央広場付近にあつて、ロビンスの準本拠地球場として使用されていたこともあり、西京極球場が進駐軍に接収されて使えなかつたためですが、当時のプロ野球のスター、巨人の川上選手がホームランを見たと言います。私の先輩の証言もあります。

昭和四十年には、広小路キャンパスから経済・経営学部が移転し、衣笠シフトを強めます。等持院に隣接していることから、等持院学舎と呼ばれていたことがあり、当初は、文系学部を広小路に、理工系学部を等持院(衣笠)に置く棲み分けがなされていましたが、昭和五十六年に広小路からの移転が完了し、衣笠への集約が完了します。しかし、学部増設の流れにより、衣笠キャンパスだけでは手狭となったことから、現在では複数キャンパス体制になっています。

ところで、衣笠キャンパスのなかの石畳には、京都市電の敷石が再利用されています。市電の敷石は、ほかにも杜等の参道や遊歩道にも利用されていますが、ここ衣笠校前でも、意外な市電との結びつきがありました。



衣笠校前停留場の京都市電

左大文字を背に衣笠校前を走る



酒屋で生きて 生かされて



第八百話 前号は、日本名門
床の間の前に 酒会会長飯田博
銀行が座る 様に捧げた文
になった。本号は元に戻します。

酒造会社との融通手形問題は、
殆ど実害はなく一応解決した。

所が、当時は超金融締め時代。
新聞で、銀行の融資担当者をお茶
屋に接待、床の間に座って貰っ
て融資をお願いすると報じられた
時代。融手問題を起こした(株)
酒谷本店は、当時主力銀行だった
住友と富士の二行から融資を
止められた。親戚や父の知人から
借りて「自転車操業になった。(自
車は止まると困るからそのような言葉が
当時に出来た)

当時、私は会社の資金担当。夜寝
ようとしても、天井が、手形振出一
覧表」に見え、寝られず憔悴した。
父は我、関せずで、夜は家(店)に
居ず外泊が多い。この状態が続け
ば堪らないと、大株主のE社社長
に「会社」全部を引き受けて欲し
いと頼みに行った。応えは、もう
一つの大株主、朝日麦酒(株)と相
談して返事するだった。今も酒は
販売免許がないと出来ないが、当
時はもつと厳しい資格条件(特に酒
卸は)があった。

暫くして、両社の共通の取引先
である舞鶴の(株) 福井善四郎本
店京都店と合併する様に提案が有っ
た。同社の社長は、業界でも有名

な剛腕なお方。お得意先や親戚か
ら「合併などしたら家も執られる」
と大反対された。が、このままで
はどうにもならないと説得し、そ
の方向に進んだ。父と取引先株式
を全て「福井善四郎本店」に譲つ
て。父は監査役、代わって私が取
締役が残った。黙ってはいいたが家
の土地建物を護るために。

合併後も、社名も店の場所もは
そのまま「酒谷本店」で合併の披
露書は当時超有名だったクラブ
「おそめ」で開いた。酒問屋業の
売上は大幅に増加した。が、利益
は増えない。仕入れは殆ど「福井
本店理由」で利益操作は否めない。
それを理由に私の年額報酬も少な
く押えられた。既に結婚し、子供
も出来た頃、このままでは困ると
密かにわが家から「酒問屋」を移
転して貰おうと決意した。

美しい時、 崩壊の時 月三天

一年という
のは、始まる
と遅く、過ぎると早い。十一ヶ月、
三六五日、八七六〇時間。振り返
るときは、この膨大な時間の中の
一コマを選ぶことができる。しか
し前に続く時間を予想することが
できて見ることができない。こ
れが三次元の中の時間の基本であ
る。

さて、この三次元の中の時間の
進みを取り扱うことができるだろ
うか？と考えてみた。まあ、意外
と簡単にできるのだけれど。とい
うのも、時間を時間と位置づけ、
一秒を決め、一分を決め、一時間
を決め、一日を決めたのは人間な
のだから。後は、人間の肉体の体
内時計を変えればよい話だ。別に、
日が昇り沈むのを一日とカウント
しなくてもいい。三六五日で一年
と考えるのもいい。生まれてから
逝くまでは切れることのない長
い糸で繋がっている。だから節目だ
という理由で無理やり区切らなく
てもいい。しかし区切らないとい
けないことが多いから、節目を設
けたのだらう。そして肉体は自然
と節目に見合った時を刻むようにな
ったのかも知れない。だから、
やつぱり取り扱えないのか。

ここでもまた考える。この時間
の概念は、少なくとも人間が電気
やガスや水道を現代のように使え
る時代のものではない。高層ビル
や工場が立ち並ぶ時代のものでも
なければ、大気汚染がこんなにも

隙間には雑草もはえ、高欄には蜘蛛
の巣もはついています。
竣工当時は、明治の薫りたよう
デザインが各所に施され、洒落た
照明灯が橋を照らしていました。が、
第二次世界大戦の金属供出でそ
れらは取り外され、味家のない現
在の姿になってしまいました。景観
地京都として、これで良いのか、サ
カタニさんはその思いを行動に移
され、今年の7月からボランティア
で清掃活動をスタート、毎月7
日に有志をつのつて活動を続けら
れています。

サカタニさんの思いと勇気ある
一歩に、今、人々が動き始めてい
ます。地元メディアがとりあげ始
め、NPO法人との連携のもと学
術的な検証も進んでいます。清掃
ボランティアにも地域を越えて大
勢の方が参加されるようになり、
橋を行き交う人々からも「ありが
た」との声がかかるようになりま
した。

七条大橋の竣工当時の姿への復
元と国の有形文化財への登録を目
指し、また七条通り一帯の活性化
を目指し、小さな灯火から始まっ
たこのムーブメントが、今、大きな
灯りになろうとしています。

深刻化している環境のものでもな
い。だとしたら、現代人の中に流
れる現代の時間というものは、糸で
表すとかかなり短いものになる。
これは、医学という概念を抜きに
して考えている。昔は、風邪をこ
らして人が死んだらしい。なら
ば現代はどれだけの人が生き残れ
るのだらう？いやいや、医学がす
ごいと言っているのではない。
どちらかというと、よくもまあこ
んなに汚したなど言っているのだ。
きれいなまま保たれていれば、全
ての時間が美しく長かったのに。
崩壊が早い理由はここにある。億
年かけて美しい時間を築いたなら、
百年足らずで崩壊する。
しかしこの百年足らずは、崩壊に
とつての億年なのだ。(終わり)

▽当初は、消費税は社会保障
費に充当すると言っていたのに。
社会保険料」は上がり、給付
年金額は減額されました。でも、
世間は静かです。

▽三昔前ならそれに「反対」す
る「デモ」が起こつただろうに。
お米のご飯をたべられなかった敗
戦から70年、日本全体が豊かに
なつて、経済的な要求の「デモ」や
スト」は殆ど無くなりました。

▽その反面で1953年ころNHKTV
で人気だった「向こう三軒両隣
り」の様なお付き合いが、個人責任
重視で薄れてきたようです。

▽「入」の字は、支え合つて成り
立ち、群れで生きてきた動物です。
繋がりがあつて仲よく生きて生き
たいものだと思います。

▽「ぞんからりん」も集西楽サ
カタニも、第3日曜日開催の
「朝粥食べておしゃべり会」も、そ
のために阿呆は続けています。

編集後記

▽「ぞんからりん」は前身「マイ
ドゥ」を1995年(平7)4月が第一
号。途中で2度ほど途切れまし
たが今号で195号になりました。

▽12月号は、当社第51期決算
作業も有り完成が遅れて1日
に配布が出来ず申し訳ありま
せん。(言い訳になりませんが)

▽会社決算の方は、前年度は、
店舗改装等で、大幅な赤字決
算でしたが、当年度は、売上げ
も向上し、赤字は消せ、若干の
黒字になりました。

▽それにしても、毎年の事です
が期末に納める多額の消費税
額は驚きます。5%でもこれな
のに、10%になれば庶民の負担
は大変です。